

令和6年4月8日

令和6年度 静岡大成中学校・静岡大成高等学校入学式 式辞

桜の花も満開を迎え、春の暖かさを感じる季節となりました。本日、静岡大成中学校・静岡大成高等学校の入学式が挙行できましたことを大変うれしく思います。ご来賓の皆様方には、ご多用の中ご臨席を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

中学1年生39名、高校1年生211名の新入生のみなさん、静岡大成中学校、静岡大成高等学校へのご入学おめでとうございます、そしてありがとうございます。在校生と教職員はみなさんのご入学を心から歓迎いたします。

静岡大成中学校・高等学校は、「自律」「対話」「行動」の3つのコンピテンシーを、生徒と教員が、共に最上位目標として掲げ、より良い学校創りを進めています。

「自律」とは、「自分の力で考え、判断し、言葉で伝え、行動する」ことです。例えば勉強を例に挙げれば、教えられる勉強から、自ら学ぶ勉強に切り替えるということです。そうすれば、自分のペースで納得いく勉強ができ、できた時の喜びも格別なものになるでしょう。

「与えられた勉強をこなせばよい」という勉強スタイルは見直しましょう。

「対話」とは、「相手の意見を聞き、相手の立場で物事を考える」ことです。自分の考えを相手に理解してもらうには、まず相手の考えを聞き、理解することです。お互いがそのような気持ちを持って「対話」することによって、互いを理解し、良い友人関係を築くことができると思います。

「自分たちでより良い学校を創っていく」こと、これが「行動」です。学校はいわば、生徒が暮らす社会です。自分たちが暮らす社会を、自分たちで良くしていけば、勉強も、部活動も、友人関係も、きっと充実したものになるでしょう。「誰かに任せればいいや」という考えでは学校は良くなりません。一人一人が「行動」することが大切です。

失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジしてください。失敗があるから成功した時の喜びも、なおいっそう大きいものになり、それが自分の自信につながります。私たちも共にこの目標に向かっていきますが、中心となるのは生徒自身です。生徒が主体となって、より良い学校を創っていくことが大切なのです。

「チーム担任制」も、この3つのコンピテンシーをサポートするシステムです。皆さん一人ひとりに、3人の担任がつくこととなります。質問や相談ごとなどがあれば、どの先生に相談しても大丈夫です。もちろん他のクラスの先生に聞いてくれてもいいです。大事なことは、皆さんが自分で考えて、先生たちにアプローチすることです。言われるのを待つのではなく、自分から「対話」を試みてください。そしてたとえば、どのアドバイスが良いかを自分で判断し、「行動」するようにしていきましょう。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。また、本校にお子様を入学させていただき、感謝申し上げます。地元から離れた学校への通学となり、中学生は夜の授業もあるなど、いろいろとご不安なこともあるかと思いますが、どうぞご安心ください。私たちは、保護者の皆様と、「対話」を通じて、情報交換や意思疎通を図って参ります。どうしたら良いか困っていること、悩んでいること、気になることなど、ちょっとした連絡でも結構ですので、担任にご相談ください。また、今申し上げましたように、私たちは生徒の「自律」を支援して参ります。それは、必要以上に手をかけたり、丁寧に教えすぎたりすることではないことを、ぜひご理解いただきたいと思います。ご家庭におかれましても、学校と歩調を合わせて、お子様と接していただければ大変ありがたく存じます。

では、新入生のみなさん、静岡大成中学校・静岡大成高等学校での3年間、自分の可能性を信じて、やりたいことに挑戦してください。

令和6年4月8日

静岡大成中学校・高等学校 校長 山田 隆司